



千川上水プロムナード構想 の実現に向けて

まっぷす

風船でイメージをふくらませよう

『まっぷす』は「千川上水プロムナード構想」として7つの提案（場所と提案は裏面を見てね）をしています。このプロムナードとは、「遊歩」「散歩」「散歩の場所」という意味。まっぷすは、より素敵な空間を多くの方にもイメージしていただくために、その提案を風船を使って実際に現場で試すイベントを行いました。イベントが始まる13時すでに風船がいくつも上がっていて、周辺を通りがかっている人たちも、みんな興味深げに見ています。ただ、現場は柵で囲まれ、入口がひとつしかありません。そこで、会場の外で通りがかりの人に声を掛けてみることにしました。



地域のまちづくりを考え、活動しているまちづくりグループ『まっぷす』。千川通りの幅を5.5mから20mへ広げる計画について、地域住民・行政・専門家と共に、今後のあり方について考える場をつくり、隣接する千川上水緑道との一体的整備など、具体的な提言を発信し、実現を目指して頑張っています。

まち活 つうしん

ねりままちづくりセンター 取材日: 2008.11.23

みんなに声を掛けてみると— 思い出話に花が咲いた

風船が上がっているから、やはり何をやっているのか気になるらしく、声を掛けてこのイベントの説明をすると、自分の想いを話してくださいました。たとえば、「昔は桜並木が続いていてきれいだった」「この木は以前ここに住んでいた方が実家から持ってきて植えた木で、何の木か分からないけどきれいな花が咲く」「この辺りは雨が降ると水があふれて大変だった」といった思い出話から、「ここに家がまだ建っていて、もっと鬱蒼としていた時は、ひったくりがあった」なんて話も。「手入れされた緑地ではなく、子どもたちが自然に触れられる、雑草がそのまま生えているような自然の草地を残してほしい」「歴史ある上水の清流復活を」という願いなどあれこれも加わり、この場所にまつわる様々な話を聞くことが出来ました。

どんな並木道？ シール de アンケート

現場では『まっぷす』のメンバーによる道路のプランの説明や、『新しく出来る道路の街路樹にどんな木を植えてほしいか』などのシール張りアンケートも行われていました。



参加者の方は、こどもからご高齢の方まで、幅広い世代の方が見受けられました。みんな説明を受けながら、真剣にシールを貼っていました。また、この日は、風がほとんどなく、最高の風船実験日和だったのですが、それでも時々吹く強い風に、風船が緑道の木に触れて割れるようなハプニングもありました。

最後は風船を通りすがりの方に配りながら、提案書も同時に手渡して無事終了。何個かは夕焼け空に飛んでいってしまいましたが…。

この場所が、周辺に住んでいる人や、いつもこの道を通っている人、あるいは、かつて住んでいた人など、みんなの想いがつまった場所に生まれ変わればいいなあ。

まっぷすの
久村さんに
聞きました。



Q. どうして風船を使ったイベントをやろうと思ったのですか？

新しくできる道路の街路樹の位置、高さを現地で検討するために、10メートルの高さまで立ち上がるものを必要していましたが、少ない材料で手軽に実現可能な材料として風船が浮上しました。

Q. 今後の展開として、どのような事を考えていらっしゃいますか？

計画道路内に位置する樹木は伐採か移植されることとなりますが、移植可能な樹木が樹木医の調査をもとに決まりましたので、今後その樹木をどこに移すのがよりよいプロムナードをつくることになるかを検討し、また近隣住民からの希望の多い将来の千川の清流復活を何らかの形で提案していきたいと考えています。



「千川上水プロムナード構想」7つの提案

- 1 「街角ポケットひろば」をつくらう
- 2 広い歩道に「くつろぎ空間」をつくらう
- 3 花の咲く草木をつなげて「チョウの通り道」をつくらう
- 4 車道に「自転車専用レーン」をつくらう
- 5 緑道と一体の「公園のような歩行者道」をつくらう。緑道には「千川上水のせせらぎ」を復活しよう
- 6 緑道と「公園・桜」をつなげよう
- 7 「個性ある街路樹」を考えよう

練馬まちづくりセンターは

“まちづくり活動助成事業”で、

まっぷすの活動を応援しています。

まちづくり活動助成事業とは、まちづくり活動を行っている団体を支援する事業です。当センターのまちづくり活動助成には3つの部門があります。

【はばたき部門】身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動への助成です。

【たまご部門】これから身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動に取り組むにあたり、事前の学習をおこなうことに対する助成です。

【テーマ部門】身近な場所で生き物と呼ぶ空間をみんなで楽しみながら創りだす活動への助成です。

練馬まちづくりセンターとは…

練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を実践する組織です。

まっぷす について



設立 2003年7月

練馬区都市計画マスタープラン地域別指針・区民懇談会を継承し、そのメンバーを中心に、区南西部のまちづくりを考えることを目的に発足

今回紹介の活動テーマ

千川上水プロムナード構想(案)を具体化します！～千川通り拡幅と千川上水緑道の一体的整備のあり方を考える～

活動内容

- ・千川通り拡幅・千川上水緑道の整備のあり方を検討(2005年)
- ・上石神井駅周辺まちづくりの調査・研究を実施(2006年)
- ・千川通り拡幅と千川上水緑道の一体的整備のあり方を考え、『千川上水プロムナード構想』として提案(2007～2009年)

HP

<http://maps-senkawa.blogspot.com/>

団体連絡

kathis@ktj.biglobe.ne.jp (久村)

取材日記

今回、初めて千川緑道に行きました。初めてだったのですが、風船が上がっていたので近くまで行くとすぐに場所が分かりましたし、単純に、とても興味が魅かれました。現地でイベント的に風船のようなものを使って興味を集め、視覚的に訴え、情報を体験して共有するという事は、多くの人から意見を聞きたいという時にはとても効果的な手段だと感じました。

ただ、通り掛かった人に、こちらから積極的に話しかけて行くことや、偶然風船が上がっているのを見て関心を持ちつつも、通り過ぎてしまった人に対して、しばらくその場で意見を受け取るための仕組みがあってもいいのかなと思いました。

みんなの想いがつまった「千川緑道プロムナード」が実現するように、まっぷすさんにどんどん頑張ってもらいたいです。